

## 平成 30 年度北方四島交流青少年受入事業実施結果概要

5 月 24 日から 5 月 30 日の日程で北方四島在住ロシア人青少年 63 名を広島県および北海道根室市で受け入れました。

今回、四島側からの「青少年たちに平和学習をさせたい」との要望により、青少年受入事業では初の広島県での実施となりました。本受入事業のプログラムは、主に「平和学習」・「日本人青少年たちとの交流」を実施しました。

「平和学習」では、広島平和記念資料館および広島平和記念公園の見学、被爆体験を語り継ぐ講話の聴講、また、広島大学附属中学校にて地元中学生たちと平和への願いを込めた折り鶴制作や書道体験を行い平和に対する理解を深めました。

「日本人青少年たちとの交流」では、地元大学生とロシア語を履修している大学生の協力により、グループ別に広島市内の散策を行い、広島城や縮景園等の見学、着付体験などを行いました。また、訪問団の内、一部は地元プロバスケットボールチーム「広島ドラゴンフライズ」のプロ選手による指導の下、傘下のクラブチームに所属する青少年たちとスポーツ交流を行いました。

その他、広島市中工場にて最新のごみ処理工場の見学、お好み焼き作りや、一部訪問団はガラスの里にてビーズを用いたマドラー作りを体験しました。また、宮島・厳島神社を訪問し、広島歴史について学習しました。

根室市においては、北方四島交流センター（ニ・ホ・ロ）にて「まとめの研修会」を行い、ニ・ホ・ロ内の見学や、元島民の講話等を行いました。

この受入事業での様々な体験・視察プログラムにより、北方四島在住ロシア人青少年たちが日本について更なる理解を深めただけでなく、日本人の大学生や中学生と出会い、多くの交流が生まれ、相互理解や友情が深まりました。



広島平和記念資料館見学



広島平和記念公園見学



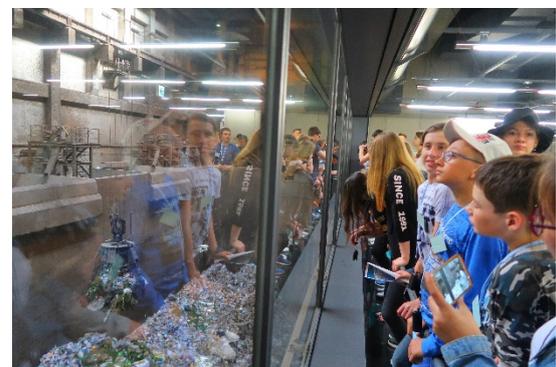
被爆体験伝承講話



広島大学附属中学校 折り鶴作成



広島大学附属中学校 書道体験



広島市中工場見学



大学生たちと広島市内視察



お好み焼き作り体験



バスケットボール交流



ガラスの里 マドラー作り体験



宮島・厳島神社訪問



ニ・ホ・ロ まとめの研修会